



※事前に予約が必要です。

●対象
広野町在住の障がい者・ご家族・支援者・一般企業

●日時
1月27日(木)

●場所
広野町役場202会議室

●就職に関する相談会
相双障害就業者・生活支援センターが、障がいをお持ちの方々へ、就職に関する相談会を実施します。

お知らせ



福祉環境グループ

就職に関する相談会

◆商品券は、「ひろの商品券取扱いステッカー」や「のぼり旗」の
使用に当たっては、後記の使用上の注意をご覧いただき、ご使用ください。

◆敬老祝金
（広野町商工会商品券はご利用になりましたか）
期限を過ぎますと使用できません。お早めにご利用ください。

使用できる期限は、
平成23年3月16日まで
となっております。

◆たとえば…どんな相談？

- 障がいのある方・ご家族・支援者の方から
- 就職したいのですが…
- 働いているんですが、困っていることがあります。
- 一般企業・雇用主の方から
- 障がいの雇用の考えているが、ノウハウを教えてください。
- 障がいの雇用の雇用について情報がほしい。
- 障がいの就労・雇用に関するさまざまな相談を受け付けます。

●福祉環境グループ
〒271-2115
相双障害就業者・生活支援センター
〒0244-2413 553
FAX 0244-2413 527
E-mail: soudan-shien@tea.ac.jp

「ごみステーション」の
利用についてお願い

- ◎収集日以外の日はごみを絶対に出さないでください。
- ◎ごみは収集日の午前8時30分までに出してください。
- ◎ごみは指定された袋に入れて出してください。
- ◎「ごみステーション」周辺の清掃にご協力ください。

ある加盟店で利用できます。
商品券は、現金との引き換えや釣り銭をお出しすることはできません。
紛失や盗難にあった場合でも再発行はいたしません。

ひろの商品券 取扱店

このステッカーやのぼり旗があるところで使用できます。

チアーズ
“Cheers!!” 「かんぱ〜い」

January is the month of new beginnings.
1月は新しい年の始まりの月です。

In Japan, the New Year is celebrated with your family.
日本では新年は家族と一緒に祝いします。

Often Japanese families go to shrines.
また家族で初詣に行くことも多いですね。

In America, the New Year is celebrated with friends and family as well, but instead of going to shrines, we celebrate at parties!
アメリカでも新年は家族や仲の良い友人たちとお祝いします。でも初詣に行く代わりに、みんなパーティー会場でお祝いします！

On New Year's Eve, people get dressed up and go to New Year parties.
大晦日にはみんな着飾って新年パーティーに出かけます。

ビクトリアの
ワンポイント
英会話
1月
January

Everyone counts down until midnight and then they kiss someone!
そして真夜中、0時を迎えるまでカウントダウンをし、新年を迎えた瞬間、そばにいた誰かとお祝いのキスをします！

It is a very exciting holiday.
とてもわくわくする祝日なのです。

Happy New Year!
今年もみなさんにとって良い年でありますように！



みんなのチカラで

広野町二ツ沼総合公園直売所利用組合では、今年度「広野町みんなのチカラで地域自給力向上プロジェクト推進部会」を設置し、事業に取り組んでいます。

この事業は、町産農林水産物の供給と利活用体制の構築に向けた組織的活動を展開することを目標としています。地域の給食事業者（学校給食、病院、福祉施設など）や食関連産業（食品加工企業、旅館・ホテルなど）において、町産農産物の利活用を拡大していくためには、それぞれの関係者相互の理解や結びつきの強化が必要であり、生産者組織と給食事業者、食関連産業関係者等が一体に取り組みなければなりません。これにより、地域自給力（地域が必要とする食料需要に対し、どの程度その地域でカバーすることができるかという供給能力）の向上につながるとされています。

今回、その事業の一環として、11月20日（埼玉県三郷市産業フェスタ）、12月8日（福島県西会津町 ミネラル野菜圃場）の先進地視察研修を実施しました。

三郷市産業フェスタ2010では、農産物や特産品の販売と観光パンフレットを配布して広野町をPRしました。当日は好天に恵まれ、多くの来場者で賑わいました。開会式のオープニングでは、広野昇龍太鼓が和太鼓を演奏し、会場を盛り上げました。参加した、広野町二ツ沼総合公園直売所利用組合 新妻良平 組合長と田仲久子 理事に感想をうかがいました。

組合長 新妻良平さん

11月20日、二ツ沼直売所組合員15名で三郷市産業フェスタを視察研修いたしました。三郷市産業フェスタには、3年ほど前から当組合でも出店させていただいており、広野町の地場産品が都市部の消費者にどのように評価されているのか、また各地から出品されている特産品にはどのような物があるのか組合員自ら声を聞いてまいりました。当フェスタは都心の方を含め数多くの方が来場してくださっており、大変な賑わいでした。そのなかで人気があったのが、やはり新鮮な野菜でした。都会の消費者にとって新鮮な野菜はお得感があるようで、すぐに売切れてしまいました。当直売所にとって新鮮な野菜はやはり主力商品のひとつです。また、もうひとつの主力商品であるお米は、初めてお客様には荷物になるからとの理由で拒否されることが多くありました。しかし、以前にご購入頂いたことがあるお客様には好評で今回もお買い上げ頂きました。来年のフェスタに出店する時には、農産物加工所も稼働しているので、多くの加工品も出品できることと思います。

今回の視察研修で、都市部の消費者の広野町の農産物に対する評価は良好であることが分かりました。しかし、いつもこのような販売の場があるとは限りませんし、都会に出向いて販売することも現実的ではありません。

今後、特産品の開発に合わせ、どのように販売していくべきなのかも併せて考えていかなければなりません。例えば、お米と野菜、加工品をセットで定期的にお届けする「広野ふるさとお届け」などで、都会にいる広野町出身者にも協力いただきながら、交流人口の視野をさらに広げていく努力が必要と思われた視察研修でした。

また、同日、千葉県柏市の農産物直売所「かしわで」にも立ち寄り、ゴミの分別処理による循環型農業への取り組み、レジ袋の使用削減、廃食用油の回収利用など、資源の循環に積極的に取り組んでいる直売所も視察することができてとても参考になりました。

理事 田仲久子さん

みんなのチカラで地域自給力向上プロジェクト事業による第2回目の視察研修が12月8日にありました。

「花ぶさ苑」施設長 遠藤様、双葉農業普及所の石井様、二ツ沼直売所の組合員と、西会津町ミネラル野菜栽培を取り組んでいる道の駅と栽培圃場を見学しました。西会津町の職員の方から、ミネラル野菜の栽培について説明を受けました。

過去、西会津町の平均寿命は短く、短命の町と呼ばれていたそうです。脳血管疾患を含む生活習慣病が原因と判明。町は平成5年「健康の町」を宣言し、保健、医療、福祉が連携したトータルケアの町作りを開始。100歳への挑戦を基本理念に掲げ、食生活の改善から着手したそうです。平成9年には、「ふるさといきいき全国サミット」の講演があり、健康な体は、健康な食べ物を基本とし、健康な食べ物はミネラルを含んだ健康な土壌からと言うことで、平成10年には、町内110箇所の土壌診断をされたそうです。健康な土・野菜を作る、栄養豊富で、おいしい作物を食べる、このようなキャッチフレーズを進めて、今の西会津町では2000年の平均寿命は男性、女性とも延び、国民健康保険の減税も実現。健康増進した西会津町のミネラル野菜栽培は、農業活性化のモデルケースとして全国から注目されているそうです。また、西会津町の直売所ではミネラル野菜が販売されていました。

広野町二ツ沼直売所でも、健康な体作りの役にたつよう健康で栄養豊富な野菜作りに努力したいと思います。今回の研修が無駄にならないように頑張っていきたいと思っています。